



上) 美濃和紙の原料問屋だった町屋。風に揺れる暖簾をくぐるとマルシェへ抜ける通り土間がつつく。  
左) 通り土間を抜けると出現する、大きな蔵と中庭でマルシェが開催された  
左) 中庭では音楽やワークショップ、クラフト、動物?でにぎわい、地元の方もたくさん訪れていた。



昨年9月、美濃市の「うだつの上がる町並み」で開催された森と木のマルシェ「森の散歩道」には、多くの来場者が訪れ、森や木・地域文化の魅力を満喫していました。

# 森と美濃の町・人をつなぐマルシェ

## 「森の散歩道」

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 谷口 吾郎

### ● いいモノ、いいコトに出会える散歩道

「森の散歩道」は、美濃市の重要伝統的建造物群保存地区「うだつの上がる町並み」で毎年開催されるミノマチャマーケットの一企画として実施しました。ミノマチャマーケットは『手仕事がつくる、上質で丁寧な暮らしを、美濃の町家から』をテーマとしています。町屋（空き家）に疑似出店することを通して、町のにぎわいを取り戻す狙いもあり、実際にこのイベントをきっかけとして空き家に出店を決める例も始めているそうです。

「森の散歩道」は、2年目となる今回から企画運営や出店に関心がある森林文化アカデミーの学生や卒業生、教員が実行委員会をつくり準備を行いました。会場は歴史的な町並みの中心地にある、かつて美濃和紙の原料問屋だった町屋（空き家）をお借りしました。

実行委員会は定期的に対話を重ねながら準備を進めました。まずは会場の現地下見を兼ねて中庭の草刈りや清掃を有志で行いました。

### ● 川上から川下まで19企画！

当日は、それぞれの得意分野を活かし、森や木、林業、里山保全、木材、木



蔵の中。木工作品を中心に、実演、生け花、ゲームなどでにぎわう。



チョウナを用いた木工作家のブース

工、自然体験、歴史文化、映像、音楽、盆栽、アート、ゲーム、ガイドなど、多様なジャンルが集まり、森や木の恵みの奥深さを感じることができました。卒業生の出店はどれも素晴らしく、在校生にとっては大きな刺激となりました。まさに川上から川下までつながるイベント。こんな多分野が集まる機会はなかなか貴重だと思います。

### ● 情報発信・懇親会も充実！

今回の会場は道路から奥まっすぐ入り、入口も狭いため周知・集客が課題でした。しかし情報発信が得意な学生がSNS発信やフライヤー制作、会場サイン計画を担当し、結果、多くの方にご来場いただきました。夜には出店者同士の交流の場も開かれました。

### ● 収穫の多いイベントでした

地域の森林・木材・暮らしに関する良質な作品や体験、情報を提供し、森林文化アカデミーの取り組みを来場者に知ってもらうこともできました。多分野で活躍する卒業生や在校生の交流・情報交換の場もつくることができ、地域とのつながりを深め、町の魅力を再発見する機会を提供できたのではないかと思います。

### ● 今年も10月初旬に開催予定！

森と美濃町・人をつなぐマルシェ「森の散歩道」。森林や地域の課題は多様な要因が絡み合っているため、一つの解決策ではなく、多方面から同時に解決策を探ることで解決の糸口が見えてくると考えています。森は楽しい、木は楽しいと思えば、もっと森も地域も人も幸せになれるはず！

今年も10月初旬に開催予定です！ 今後も情報を発信していくので、ぜひ遊びに来てください！



学生がデザインしたフライヤー。Instagram、Facebook、紙媒体などで情報発信していった。

Instagram



FORESTSC\_MARCHE

facebook



「森の散歩道」の最新情報はコチラから